

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスていんくる		
○保護者評価実施期間	2025年3月3日		2025年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2025年3月3日		2025年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・機能訓練士(作業療法士)による、身体や目を使って日常動作の改善や、身体の使い方を目的として取り組んでいる。 遊びや、日常生活動作を通して、発達を促す支援を行い、発達の遅れや偏りのある子どもに対して遊びを中心に様々な作業活動を通じて個々の課題や将来の生活を考慮した関わりを行う。	・買い物学習の実施。 ・日常にお小遣い制(模擬のお金)でのおやつづくり、お金の大切さを理解して欲しい。きちんと金銭感覚を身につけて、知的感覚や物の価値観など、お金のまつわる様々な事を遊びながら学ぶ事を目的として取り組んでいる。また、一部を成果報酬とすることで就労意識の向上に役立てていく。	・ソーシャルスキルトレーニングの実施。 発達障害のある子どもたちには、自分の置かれた状況を読み取ることや何らかの理由で適切な行動を獲得しづらいことがあり、対人関係の経験を積み重ねる中で自分の振る舞いを修正、調整することが難しいことがある。そのためスキルを身につけることで、自分の気持ちが伝わりやすくなったり、友達と楽しく過ごせる様になる、など子どもたちが学ぶメリットを感じられるような支援の取り組みの実施。
2	・保護者様との面談を通して、お子様についての課題などについてのアドバイスをを行っている。	・知的障害を抱えている児童へのアプローチで、目視で伝わりやすくするように、1人1人の特性に合わせた絵カードや、アニメを用いて、コミュニケーションのツールとして活用している。	・おやつ時のお小遣い制を始めて1年以上が経過し、子どもたちがお金を貯めることの楽しさを覚えてきたこともあり、金銭管理票を作成し、使ったお金、残っているお金を個々に記入してもらいお金を管理するという学びの取り組み。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・PDCAサイクルの活用が上手くできていない。 また、仕組みの周知徹底に力を入れていく。	・PDCAサイクル活用の意識が低い。 使いやすいように工夫したり、サンプル的に活用できる手段を探し実践していく。	・PDCAサイクルを、回す目的を明確にする。 ・共通の目標や目的を意識しPDCAサイクルを回していく。 ・資料等のシンプル化。
2			
3			